

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		令和元年度第 1 回川西市介護保険運営協議会 生活体制整備部会(第4回第 1 層協議体)	
事務局(担当課)		福祉部 介護保険課	
開催日時		令和元年 9 月 24 日(火)15:05~16:15	
開催場所		キセラ川西プラザ 文化棟 2 階 大会議室	
出席者	委 員	小田 憲三、平岡 譲、高田 憲二、有田 洋子、荻本 文人、 細見 幸己、数元 雅信、田中 公宏、市場 大輔、岩井 健 元山 純一、西本 裕子、森 真理	
	そ の 他		
	事 務 局	福祉部 山元部長 介護保険課 福丸課長 松永課長補佐 山本主査 中央地域包括支援センター 貞松所長	
傍聴の可否		可	傍聴者数 0 人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第		1. 開会 2. 報告事項 「第 2 層協議体(福祉ネットワーク会議等)の実施状況及び協議 内容」について 3. 協議事項 「生活支援(訪問)活動の体制整備」について 4. その他 5. 閉会	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

審議経過

事務局	<p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和元年度第1回川西市介護保険運営協議会「生活支援体制整備部会」（第4回第1層協議体）を開会いたします。</p> <p>私は、本日司会を務めます福祉部介護保険課課長補佐の松永でございます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、皆さま方には何かとご多忙のところ、全体会に引き続きご参集を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>まず始めに、令和元年7月31日で本部会の任期満了に伴う委員改選により、川西市介護保険運営協議会全体会に出席された委員におかれましては、先ほど委嘱状をお渡ししたところでございますが、部会員の元山様におかれましては令和元年8月1日から令和4年7月31日までを任期とする委嘱状を置かせていただいております。机上配布となりますが、ご了承ください。</p> <p>川西市コミュニティ協議会連合会から元山様が部会員にご就任いただいておりますので、一言、委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">自己紹介</p>
事務局	<p>ありがとうございました。本来、部会長が進行を務めるところでありますが、委員改選に伴い、部会長が不在となっております。従って、川西市介護保険運営協議会会長の大塚会長に部会長選出までの議事進行をお願いしたいと思います。大塚会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ご指名をいただきましたので、よろしくお願いいたします。川西市介護保険運営協議会規則第5条第3項に基づき、任期満了に伴い部会長と副部会長を決めたいと思います。選出は、部会に属する委員の互選によって決めると定めておりますので、委員の皆さまからの立候補はございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（発言する者なし）</p> <p>どなたも無いようですので、事務局から何かご提案はありますか。</p>
事務局	<p>事務局案として部会長については前任の小田委員に、副部会長についても前任の細見委員をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>「異議なし」との声がありましたので、川西市介護保険運営協議会「生活支援体制整備部会」の部会長を小田委員、副部会長を細見委員をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>

会長	<p>それでは、部会長、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">部会長挨拶</p>
会長	<p>ありがとうございました。それではこれ以後の議事進行につきましては、部会長 よろしくをお願いいたします。</p>
部会長	<p>それでは、委員の出席について、確認させていただきます。</p> <p>委員の出席については、委員13名の内、本日ご出席をいただいておりますのは 13名皆様に出席していただいております。</p> <p>よって、川西市介護保険運営協議会規則第3条第4項の規定に基づき、本日の部会 は成立しております。</p> <p>皆様の活発な意見交換を、ぜひともよろしくお願いいたします。</p> <p>傍聴の方はおられますか？</p>
事務局	<p>傍聴の方はお越しではありません。</p>
部会長	<p>では、議事に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。</p>
第1層C○ (コーディネーター)	<p>それでは、資料の確認をさせていただきます。まず、本日の会議の次第としまし て、『令和元年度 第1回川西市介護保険運営協議会(第4回第1層協議体) 次第』 、と、『第2層協議体(福祉ネットワーク会議等)の実施状況及び協議内容』、次に 事前送付資料としまして1点目が資料1『生活支援(訪問)活動の体制整備の推進にか かる聞き取りの結果について』、2点目が資料2『「生活支援(訪問)活動の体制整備 」の推進にかかる聞き取りの実施について』、3点目が資料3『「生活支援(訪問)活 動の体制整備」の推進にかかる主な聞き取り結果』、4点目が補足資料『生活支援 体制整備について』の以上6点でございます。</p> <p>事前送付資料につきましては、予備を用意しておりますので、お持ちでない方は お申し付けください。</p>
部会長	<p>皆さん、資料の方はお揃いでしょうか。</p>
部会長	<p>本日は、4時までと短いですが、生の声を十分反映させたような協議の場となる ことを願っております。</p> <p>報告事項が1つと協議事項が1つございますが、報告事項といたしまして、『第2 層協議体(福祉ネットワーク会議等)の実施状況及び協議内容について』第2層のコ ーディネーターよりご説明をお願いいたします。</p>
第2層Co	<p>先ほど案内のありました「福祉ネットワーク会議等、第2層協議体開催状況」と 書かれました資料をご覧ください。</p>

	<p>こちらの資料ですが、平成31年3月18日から令和元年9月20日までの開催分の報告となっております。</p> <p>福祉ネットワーク会議等に関しましては、社会福祉協議会の地区福祉委員会が事務局となりまして、各地区の状況に応じて議題を設定して話し合いが行われている状況となっております。</p> <p>成果としましては、地区内の団体、事業所、学校関係など、様々な地域の活動団体との連携、同じテーブルの上で地区の課題を共有するというあたりの成果が非常に出ているところであります。</p> <p>ただ、議題に対する具体的な課題がすぐに解決するものではないので、回数を重ねて課題解決に向け少しでも近づけられるよう協議を重ねておられる状況です。</p> <p>課題としましては、昨年の協議体でも出ささせていただきましたが、14地区共通の課題といたしまして、「人材の確保」「活動拠点の確保」「財源の確保」「移動支援」が非常に出ていると感じています。</p> <p>また、ネットワーク会議にいろいろな団体に参加していただいておりますが、実態としての連携、実際の連携がなかなか難しい地区もあるかなという状況であります。</p> <p>以上が報告です。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。ご説明は終わりました。</p> <p>小学校区を中心とした第2層協議体(福祉ネットワーク会議等)の実施状況及び開催内容、そこにおける人材の確保、拠点、財源の確保、移動支援も含めていろいろと課題があるとのこと指摘でございます。何か皆様方ご意見、ご質問等はございませんか。</p> <p>〇〇地区で頑張っておられる〇〇委員いかがですか。</p>
委員	<p>課題として人材の確保、活動拠点の整備、財源の確保、移動支援についてはすべての地区に共通している課題なのかなというふうに感じております。私の実感としては、それぞれの地域で、ここはこうあったらいいなとそれぞれ違うと思うので、後ほどの協議事項になってくると思いますが、そういう市の支援を考えていったらよいのかなと考えています。</p>
部会長	<p>市の支援とのことですが、具体的にどういった支援が第2層の協議体に対してあったらよいと願っておられますか。</p>
委員	<p>初めてこの会議に出席させていただきますが、この会議は、第1層の協議体の位置付けと聞いておりますが、私たち第2層協議体は、生活支援体制であるとか介護予防体制というのはそれぞれの地域に応じたやり方でしています。私の地区では、食事会を行っており、それが生活支援であり、サービスの提供する側からは、介護予防にもなり、いろいろなことを各地区福祉委員会が取り組んでいます。</p> <p>第2層でどうしても手が届かない部分について、例えば「拠点の整備」「移動支</p>

	<p>援の整備」などは、第2層ではいかんともしがたい部分がありますので、その辺を今まで第1層の協議体の中で取り上げていただいているのかわからないですが、医療、介護、住宅などの問題を第1層で協議していただけるのかどうかを知りたいと思っています。</p>
部会長	<p>いろいろと問題提起がされましたので、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>拠点整備と移動支援ということで、具体的な課題をご指摘いただいたところでございます。</p> <p>拠点ということに関しましては、各地域に自治会館やコミュニティ施設が一応整備されていると考えておりますが、拠点に関してどういったところで困っておられるのか個別にお聞かせいただければと思っております。今のところ、建物の整備等については市として支援するという事は、特段考えておりません。</p> <p>また、次に移動支援の部分ですが、平成30年度にもう一つの会議であります施設整備部会でもご指摘を受けていると聞いております。市としても高齢者を始めとして、移動に支障のある方々に対する、なんらかの支援については、大きな課題として認識しておりまして、別の部署になります。オンデマンドモビリティに関する検討を具体的に進めているところでございます。そういった動きとも緊密に連携を図りながら、川西市の移動に困難を抱えておられる方に対する支援の在り方について検討していきたいと考えております。</p>
部会長	<p>他に意見はございませんか。</p>
委員	<p>生活支援活動の体制整備という一つの大きなくりの中で、地区福祉委員会を主とする第2層の協議体があって進められていくということは、なんとなくわかっていると思うのですが、その協議体の中で生活支援体制の何をするのか、各小学校区コミュニティによって、マンパワーの問題や経営的な問題などがあり、何をするのかによって支援の内容が変わってくると思われ。各コミュニティの課題も出てきたと思いますので、生活支援体制整備を行うにあたって、それぞれの地域で足りないものを補って始めていくしかないという気はしています。ただ、なかなか何をするのかまだ見えてない状況があると思うので、その辺のところの課題抽出をしていかなければ整備はおぼつかないことから、まだまだ進んでいない入り口のところだと思えます。そのあたりをどうしていくのか、大きな課題があるので、これからどうしていくことが良いのかを整理していくことが求められることではないかと感想を述べさせていただきました。</p>
第2層C o	<p>川西市では、長い間、地域福祉活動を福祉委員会が担っていて、その流れでやっているというところがあるので、生活支援体制整備の視点を結びつけるということが、うまくご理解いただけていないところがあるのかもしれない。</p> <p>そのほかの課題といたしましては、地域福祉活動の背景といたしましては、個別</p>

のケース、一人一人が抱えておられる課題があって、それを地域で支えることが一番大事なところであり、ネットワーク会議もそうですが、地域包括支援センターが抱えておられるケースとの連携なども課題になってくるのではないかと感じ、そこがうまく連携できれば、やるべきことなども皆様にわかっていたのではないかと感じています。

委員

何に対する補助かが決まっていなくて、決めていくのは難しいです。

総合事業の中の生活支援にかかる「訪問型サービスB」が地域でどこまでできるのか、マンパワーの問題もあり、前回出していた課題も解決していない中、担い手となっていて高年齢の方が福祉に携わっていただいているのが現状です。個別のケースで各家庭の事情が違う中で、サービスを求められる方がいらっしやって、その方が適切に的確にできるのかどうか、その方に任せられるのかなというところも出てきます。そうすると、地域がきちんと人まで出して地域支援事業に取り組んでいただけるのか、出していただけるなら、地域の事業として成り立ち、それに関して補助的にこうしましょうとなるのですが、そこまでまだきていないのではないのでしょうか。第2層の協議体の中で具体的に何をどうしていくのかなということを決める方が先決であるのかなと感じているので、その辺のところをきっちり聞いて、投げていただきたいです。また、他市の事例を披露したり、具体的に目に見えるものを提示してほしいです。

委員

地域で福祉活動をしている立場から申し上げますと、川西全体で生活支援の事業や介護予防事業であったりは、事業自体出来上がっている。そこに、新しい事業を当てはめようとするのではなく、今の我々が築き上げてきた地域福祉活動、生活支援であったり、介護予防をどういう形でメニューをそろえて、できるかを行政側から私たちへヒントをいただきたいという考え方である。

何が不足しているのかではなく、こういうメニューがありますよという情報を示してほしい。例えば、総合事業で人件費に充ててはいけなくなっていますが、今、無償のボランティアは成り立ちにくい状況である。しかし、最低賃金を出すことも難しく、あくまでもボランティアという範疇の中で有償ボランティアを行っています。一つの考え方として、最低賃金とボランティアの差額を交通費の名目で補助していただくことを考えていただくなど、実のあるもの、地域が喜び、これならボランティアも参加できるな、というようなメニューを考えてほしい。

委員

当地区でも、要支援1・2にかかわらず生活支援が必要な方に対し、生活支援援助サービスとして有償ボランティア活動をしています。ある程度、行政が行き届かないようなところへの支援は各地域で行っているところも出てきています。そこまではできるという形であれば、そこを行政が支援していけばよいと思っています。他にも、総合事業の「訪問型サービスB」について、介護保険給付が外れ、市で実施していかなければならないため、その辺を具体的に現場におろしてどこまでできるのかを議論していかなければ、なかなか前に進まないと思っています

部会長	<p>また、地域によっては、取り組みが出来ていない地域があったり、補助金がなくても取り組みたいという地域もあります。本当に補助金がなくてもできるものなのかなどの議論は、ある地域では進んでいないから、その辺のところをどう行政がリードしていくのかを踏まえて精力的に実行していただきたいです。</p> <p>有償ボランティアも一つの解決方法ですね。</p>
委員	<p>福祉有償運送や生活支援サービスを実施していますが、全国的に「訪問型サービスB」や「D」を進めていきたいと思っている市町村が多いのかもしれませんが、なかなか進んでいないのが現状です。「B」は平成29年度で200市町村しか取り組んでいない。「D」に至っては40市町村しか進めていないそうです。</p> <p>川西市でも、先日聞き取り調査に来られましたが、現在検討段階ということですね。</p>
部会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>川西市の地域福祉づくり、高齢化といわれる前の昭和40年代ごろから、社協を中心に、川西モデルは日本の地域福祉のモデルだと、全国社会福祉協議会に言わしめたという経過があります。そういったスピリットを受けついで高齢化・少子化が続いている昨今ですが、今後どうしていくかお互い考えていかなければならないですね。</p>
委員	<p>協議事項と関連してくるのですが、4つの課題が出されましたが、この課題を第1層の協議体でどう担っていくのか。場合によっては、地域の中でもう少し分析をしたり、協議することにより、地域に配分されている交付金で解決できるものかもしれないし、移動支援なら福祉を超えた部署と連携しなければ解決できないものもあるので、4つの課題をこの第1層協議体でどうしていくのかをきっちり押さえていかなければいけないのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>移動支援については、大きな課題であり、運転免許証の自主返納の方も増えると思います。先ほど事務局から移動支援について他部署の動きを説明されましたが、他部署と介護保険課、地域福祉課も連携して取り組んでいただきたいと思います。</p>
部会長	<p>他にありませんか。</p>
委員	<p>老人会が衰退しています。活動に行きたいと思っても、行ける手段がないのです。仲間の送迎により参加されると、とても楽しい顔をされています。仲間と話すことで、とても明日への希望が湧く雰囲気がわかります。老人会の存続はとても大事だと感じています。それに伴って、交通手段に真剣に取り組まないといけないこと、なおかつ自動車に乗れるからといって、運転すると新聞沙汰になることが大</p>

変多いのが、高齢者の運転免許証。そのことも老人会として、なるべく自粛をしながら、社会の中の一員として意識を持ちながら、自分自身の健康状態、環境、車の在り方などを考えて、課題を持ち出す元気のある方がいらっしやるので、これから真剣に自分たちの接し方を考えていこうとする方向性が出てきている気がします。

また、支援という話ですが、日常生活の中で一番困っているのが、家庭からの出るごみや空き家になっている草抜きがあります。今、自分のところで行っているのは、お勤めしている方のごみ出しの支援を行なっていますが、「お礼を言わないでください。」、「お礼もしないでください。」、「私たちがあなたのお勤めを支える。そのことによって助かる。その気持ちを、あなたが年を取った時、お向かいに住む若い方がお勤めしないといけない時に、「支援してもらったな。」とその気持ちを受け渡していつてもらいたい。そのような気持ちで今行っています。このようなことで、つながりもよくなるし、良い人間関係ができるのではないかと思います。

今回、この会議に出席し、初めてびっくりしたことが、私たちの知らないところで、こんなに真剣に討議してくださっているところがあったことが大変うれしく思います。

私たちも、これから娘たちに伝えながら家庭の中から真剣に、親のこと、自分たち若い夫婦のこと、お隣のこと、お向かいのこと、若いお子さんが生まれた方々との生活をいかに円滑、うまくいかすかを考える課題がごろごろ出てきたのだと思います。

今の私はあまりたいしたことは言えませんが、少しずつ目覚めてきたということでお許し願いたいと思います。

部会長

ところで、もう一つ協議事項がありますので次の議題に行かせていただいてもよろしいですか。

それでは、次第の3、協議事項「生活支援(訪問)活動の体制整備」について、第1層コーディネーターよりご説明をお願いします。

第1層C○

今までお話ししていただいていたご意見は、まさに私がお話しする、協議事項のご意見でもあったのかなと思っています。どうもありがとうございます。

簡単に説明させていただきます。

皆様の方には、事前に資料を送らせていただいておりますので見ていただいているかと思いますが、まず、資料1「生活支援(訪問)活動の体制整備の推進にかかる聞き取り結果について」を、お手元にご用意していただけますでしょうか。

この度の聞き取りは、介護予防・日常生活支援総合事業による介護予防・生活支援サービス事業の中に位置付けられております要支援1・2、事業対象者を対象とした住民主体による訪問型サービスでの補助金制度創設を念頭に置いて、皆様に聞き取りをさせていただいたものです。

主に高齢者の方を対象として日常生活の困りごとなどを支援している地域の福

祉委員の方や活動団体の代表の方々に地域活動の現状を聞かせていただきました。
資料2として用意しておりますのが、実際のベースとなる聞き取りの内容についてです。

実際には、これを参考にしたうえで、地域で活動していらっしゃる実働部隊の方々に地域活動の現状を聞かせていただきました。その時の主な内容を資料3の方に項目別に整理、集約しております。

この聞き取りの中で、検討していましたが、補助の仕組みが、要支援者もしくは事業対象者という限定された対象者であったこと、また、従前から課題として挙がっている活動者の高齢化による担い手不足という地域の状況の中で、補助対象者の把握のために必要な事務の煩雑化が想定され、要支援等の有無に関わらず必要な方へ支援を行っている今の地域活動の現状にそぐわないのではないかと意見を多くいただきました。

この結果から、現在、実施されている地域の様々な活動内容を、できる限り変える必要がない補助の仕組みが望まれていることがわかりました。

先ほども出ましたが、これまで課題として挙がっている「人材の確保」「財源」「拠点の確保」「移動支援」の4つの課題の中で、市が今後、優先的に取り組んでいくべきものについて、再度、検討していかなければならないと考えているところでございます。

そこで、先ほど委員からも話が出ましたが、この第1層協議体で、ご出席の方々に市が取り組むべき課題や支援等について、ご意見やご提案などをいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

部会長

ありがとうございました。

先ほどから話し合っていることも関連しておりますが、調査の結果からも「拠点」「人材」「活動状況」「補助制度」への市民のニーズが示されているわけで、第1層のコーディネーターが発表いただいたことを踏まえてこれからどうすべきでしょうか。皆さんいかがですか。

委員

人材のことですが、先ほどから出ています、有償ボランティアのことがたびたび出ていますが、福祉委員会としていろいろな事業をしている中で、この件に関してだけ有償ボランティアというのはいかがなものかと思えます。

また、移動手段でございますが、先ほどもご意見がありましたが、来たいけれど来られない人に対しての送迎については、課題になっています。しかし、事故が起こった時の責任問題があるため自分たちの地域では送迎は行っておりません。

部会長

有償ボランティアにすぐに行くのではなく他の手段も考える方が良いとのことですね

委員

どこまでどう進めていくのか、第1層と第2層の役割の道筋を作っていくのが大事です。ボランティアの人材不足についてはどこも同じだと思っています。

昨年も参加させていただいておりますが、地域の課題が議論に上がったと思いますが、今回の会議の中で福祉ネットワーク会議や第2層の協議体の開催状況が一覧でまとめて示されたり、移動手段のことや財源、拠点のことなど、課題が挙げられた中でも、生活支援活動体制整備の推進に係る聞き取りを実施されたりとか、まとめていただいたりとか、少しずつではありますが、昨年挙げられた課題に対して取り組んでいただいている実情というのが、本日会議に参加させていただいた中で実感しているところでございます。

なかなかすぐに結論が出るものではないですが、着実な取り組みが、行政や社会福祉協議会、地域であったり、そういったところで取り組んでいるものが、実を結んでいくような形になっていければよいのではないかと感じたところであります。

委員

ごみ出しや草ひき、家事援助などはシルバー人材センターでお仕事ととして、お受けしております。

要支援1・2を含んですべての方を対象としていますが、おそらく、地域の方がボランティアとしていろいろと活動されているところもあると思われそうですが、その隙間の部分をシルバー人材センターが活動しているのではないかと考えています。

ただ、先ほどご意見で、有償ボランティアの話が出ていますが、シルバー人材センターはお仕事として家事援助を受けていますが、お仕事をさせていただける方を探すことが難しい状況にあり、家事援助していただける人材を確保するのは難しいと感じているところでございます。その辺をどういった形で解消していくのかを考えているところであります。

委員

1・2層の協議体の活動も何年か経っているが、今回聞き取り調査などをしていただいて、地域の課題もでてきておりますが、1・2層の目標を地域に提示していくことが大事なのではないでしょうか。先ほどからでている課題で、人材不足と出ていますが、本当に地域で人材不足なのではないでしょうか。高齢者でもボランティア活動しよう意識されている方はおられますが、参加ができないという課題があります。そのあたりを地域課題として認識するなど、第1層として、第2層に対して課題提起ができるような1層の体制になればよいと感じています。

委員

生活支援の訪問の聞き取り調査をされ、結果として「地域の実態にそぐわないとの意見をいただきました。」ということで、社協として、この件について話し合いをしてきた中で、地区福祉委員会は多くの支援する方を全体で考えているので、要支援1・2と特定して事業をしていくのは難しいと最初から言っています。

もう少し遡ると、第2層の協議体については、中学校圏域としていましたが、福祉委員会を含めてコミュニティも小学校区単位としているため、それでいくべきだと思っていて、2年かかって小学校圏域になりました。

社協と市はもっともっと連携を深めていかなければいけないので、よい意味で社協を使ってもらうことも含めて社協の言うことをわかっていたいただきたいです。社協の地区担当が地域に出ていろいろなご意見を聞いてきて対応しているわけで、直接

	<p>市の職員が地域へ聞き取りをすることもよいのですが、もう一步先に進むことも場合によっては、できたわけなのです。だから、これから進めるにあたって、もっと社協との連携を密にして、できるだけ地域の方に負担をかけずに、そしてできるだけ早く進めていく方向を考えていく必要があるのでは、もっと市と連携をとっていきたいと思っています。</p> <p>また、4つの課題を1層で考えていただいたらよいとの話でしたが、前回にも出ており、この4つの課題にどう対応していくかをもっと市が分析していき、その分析があって、その内容を提供していただき、みんなで話し合いをしていくことが必要だと思います。</p> <p>また、優先的に取り組んでいくのも確かに一つの方法ですが、非常に関連している部分もありますので、そういったことも含めて今後は優先で進めるというだけできずに、そういった進め方についてももう一度、検討も必要ですし、これから協議なりしていく必要があるのではないかと考えております。</p>
<p>部会長</p>	<p>ありがとうございました。社協から行政に対してのご意見でした。</p> <p>それでは、「生活支援体制整備部会（第4回第1層協議体）」についての協議は以上で終わります。</p> <p>そのほかに次回の開催についてということですので、事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員の皆様からご意見をいただきまして、市の方でももう少し分析が必要だということですので、本日は、短い時間での会議でしたのもう一度年内に本部会を開催していただきたいと考えております。</p> <p>開催予定日は、12月12日（木）、13日（金）を候補日と考えています。開催決定日につきましては、改めて開催通知によりご案内申し上げます。よろしくお願いいたします。</p>
<p>部会長</p>	<p>12月12日（木）か13日（金）に今日話し合ったことを持って帰っていただいて、何か次には提案という感じになればよいのですが、全員おそろいですので、日程を決めましょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、12月13日（金）の13時30分から開催したいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>確認させていただきたいことがあります。今回、市が考えていた生活支援の訪問型は、地域の意向にそぐわないとのことから取り下げられ、次回、再検討しようとのことですが、市が考えている事業の実施年度について目標年度を教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>必ずしも何らかの財政的支援を前提に考えているわけではありませんが、もしそれが必要だということになった場合は、早くて再来年度の令和3年度になろうかと</p>

思います。

基本的には、第8期の介護保険事業計画の中で、生活支援体制整備について具体的な形をお示しできればと考えておりますので、その際には介護保険運営協議会の皆様のご意見をお聞かせいただいた上で具体的な形にしていければと考えております。

本日の生活支援体制整備部会につきましては、たくさんのご意見をいただきました。今日はこういった議題の提示でしたので、総括的なことで、様々な観点からご意見をいただきました。次回は、今日いただいたご意見を整理して、もう少し何についてお話いただきたいかといったことを明確にした形で会議を開催できればと考えておりますので、よろしく願いいたします。

部会長

最後になりましたが、部長から何か一言お願いいたします。

事務局

長時間にわたりまして、非常に熱心なご議論をしていただきありがとうございます。行政の努力がなかなか追いついていないのではないかという厳しいご意見をいただいたかと思ひますし、また、地域は地域のそれぞれのご事情があるということ、また、関わっておられる社会福祉協議会や関係団体におかれましても、それぞれの事情があるということがたいへんよくわかりました。

ただ、急いで取り組まなければならないということをも十分理解したうえでございますが、しっかりと議論を積み重ねて合意形成を得たのちに、川西市にとってよりよい支援の体制を作りあげていくこと、これが大切だというふうに思っております。まさに、第1層の協議体、この場合はそういった役割を担っていただいているものと考えておりますので、これから先、少し期間を詰めるような形でしっかりとご議論いただきたいと思っております。

それをぜひ生かしていきたいと思っておりますので、大変ご苦勞をおかけするわけですけれども、時間の方を割いていただきまして、私どもの方が事業化を図るにあたりまして、それに向けた一助とさせていただきたいと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

部会長

それでは、以上をもちまして閉会といたします。

委員の皆さまには貴重なご意見をいただき、また、議事進行にご協力を賜りありがとうございました。